

#### IV 東京都の保護上重要な野生生物種 - 島しょ部 -

# 本文の見方

備考（レッドリスト改定時における評価の根拠など補足情報）の掲載ページ

## オガサワラシコウラン

※備考 (p. 300)

*Bulbophyllum boninense*

ラン科

小笠原諸島 **VU**

環境省 **VU**

### 【形態・生態】

多年草。根茎は短く匍匐し、卵形の偽球茎をまばらにつける。葉は多肉質で長さ8～17cm、幅2～5cm。偽球茎の基部から花茎をのびし、先端に3～5個の花をつける。

### 【分布の概要】

小笠原諸島

### 【小笠原諸島における生育環境】

湿った樹幹や岩上に着生する。

### 【小笠原諸島における生存に対する脅威や保全上の留意点】

園芸目的の採取や外来植物による被圧の影響に注意することが望ましい。

### 【関連文献】

豊田武司（編），2003；中島睦子（著）・大場秀章（監修），2012。



### 「現存する株数」別の情報数

| ～ 10 | ～ 50 | ～ 100 | ～ 1000 | ～ 10000 | ～ | 不明 |
|------|------|-------|--------|---------|---|----|
| 8    | 12   | 3     | 2      | 0       | 0 | 0  |

### 「以前からの増減」別の情報数

| ～ 1/100 | ～ 1/10 | ～ 1/2 | ～ 1 | ～ | 絶滅および未発見 |
|---------|--------|-------|-----|---|----------|
| 1       | 0      | 2     | 15  | 1 | 0        |

### 判定基準

ACD

現地協力者の方々からお寄せいただいた情報を整理した表です（植物のみ）。

### 「現存する株数」別の情報数

現地で確認された株数別のメッシュ（地域）数。左へ行くほど少ない。

＜上記の例＞ 現存する株数が10株未満のメッシュ（地域）が8つある。

### 「以前からの増減」別の情報数

減少率別のメッシュ（地域）数。左へ行くほど減少している

＜上記の例＞ 以前からの増減が1/100以下のメッシュ（地域）が1つある。

判定基準：ランク判定に用いた基準（各基準の概要は p. 13～15）

※メッシュは、3次メッシュ（約1km四方）のことを指す。一部の島は3次メッシュを採用しなかった。

### ＜東京都カテゴリー＞

＊ 留意種

### ＜東京都と環境省共通カテゴリー＞

|                |                   |                  |
|----------------|-------------------|------------------|
| <b>EX</b> 絶滅   | <b>CR</b> 絶滅危惧ⅠA類 | <b>VU</b> 絶滅危惧Ⅱ類 |
| <b>EW</b> 野生絶滅 | <b>EN</b> 絶滅危惧ⅠB類 | <b>NT</b> 準絶滅危惧  |
|                | <b>CR</b> 絶滅危惧Ⅱ類  | <b>DD</b> 情報不足   |
|                | <b>EN</b> 絶滅危惧Ⅲ類  | <b>LP</b> 地域個体群  |

環境省カテゴリーは、環境省第4次レッドリスト（平成24、25年）のカテゴリーです。

＜各項目の説明＞ 下記の「伊豆諸島」の部分には「伊豆諸島」または「小笠原諸島」が入ります。

【形態・生態】 形態的特徴や一般的な生態の特性

長さなどで出てくる(5～)10～13(～25)cmという表現は、普通は10～13cm、知られている最小サイズ5cm、知られている最大サイズ25cmというような意味合いで用います。

【分布の概要】 日本国内における分布の概要(「地方」「都」「府」「県」は省略しています)

【伊豆諸島における生息環境】 伊豆諸島における生息環境

【伊豆諸島における生存に対する脅威や保全上の留意点】 島しょ部における減少や絶滅の要因、保全上の留意点や参考情報など

【関連文献】 該当種の分類学的・生態学的論文や生育・生息の記録が掲載されている文献(2,3例程度に絞りました) 関連文献の一覧は、各分類群の解説文の最後尾にアルファベット順で掲載しています。

『「東京都の保護上重要な野生生物種」(島しょ部)2011年版～東京都レッドリスト～』における留意種の理由、備考は各分類群の最後尾にまとめて記しています。

